

2026年8月5日 水曜日

「Klacciパニックバー×キーレックス」正式コラボレーション開始のお知らせ 電源を使わず、「確実な入室管理」と「緊急時の迅速な退出」を両立

これまで弊社には、電気や電池を使用しない押しボタン式レバーハンドルトリムについて、多くのお問い合わせをいただいてまいりました。このたび、株式会社長沢製作所の機械式ボタン錠「キーレックス」と、Klacciパニックバーとの正式なコラボレーションが実現いたしました。

キーレックスは、暗証番号を入力して解錠する完全機械式のキーレス錠です。電源・電池・配線工事を必要としないため、電池交換などの維持管理負担を抑えながら、停電や電池切れ、電気系統のトラブルに左右されない安定した運用が可能です。

今回の製品連携により、建物の外側からはキーレックスによる暗証番号認証で入室を管理し、内側からはKlacciパニックバーを押すだけで、迅速に退出できる扉システムをご提供できるようになりました。「通常時のセキュリティ」と「緊急時の安全な避難」という、扉に求められる二つの重要な機能を、電気を使用せずに両立できる画期的な製品構成です。

本製品の主なメリット

- ・電源、電池、電気配線工事が不要
- ・停電や電池切れの影響を受けずに使用可能
- ・錠を持ち歩かず、暗証番号で入室可能
- ・錠の紛失、複製、配布、回収に伴う管理負担を軽減
- ・人員の入れ替え時も、暗証番号の変更によって対応可能
- ・室内側からはパニックバーを押すだけで迅速に退出可能
- ・入室管理と緊急時の避難動線を一つの扉で両立
- ・電気工事が難しい場所や、既存建物への導入にも対応しやすい構成

工場、倉庫、物流施設、学校、医療・福祉施設、オフィス、商業施設など、関係者以外の入室を制限しながら、非常時には速やかな退出が求められる建物に適しています。

製品品番は「KLG4110」です。

現時点で組み合わせ可能なKlacciパニックバーは、以下の機種に限定されます。

- ・1100-33
- ・1100-45
- ・F1100-33
- ・F1100-45

製品図面および関連資料は、弊社ホームページからダウンロードいただけます。

導入条件や扉との適合確認、機種選定、施工についても弊社がサポートいたします。詳細につきましては、お気軽にお問い合わせください。

ゴールドマン株式会社
代表取締役 武藤 健太郎

